



野菜の需給・価格動向レポート(平成24年1月10日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		12月の価格動向				生育及び価格の1月の見通し
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均 販売価額			
			上旬	中旬	下旬	
葉 茎 菜	<div>キャベツ</div> 	66.3	61	70	89	・愛知産は、9月の台風の影響で根の張りが悪いところに、最近の低温と少雨の影響で、1月末まで少なめの出荷の見込み。千葉産も、低温の影響で、年末から少なめの出荷となっているが、今後生育が回復する見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は平年を上回って推移する見込み。
		69.92	63	72	94	
	<div>ねぎ (関東：白ねぎ 関西：青ねぎ)</div> 	218.22	188	178	196	・千葉産は、順調な生育、出荷となり、平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、年末から出荷量が増加傾向となり、今後も順調な出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。
		444.77	310	300	370	
	<div>はくさい</div> 	36.65	32	32	37	・茨城産及び群馬産は、作柄も良好で、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		53.29	51	52	62	
	<div>ほうれんそう</div> 	350.1	343	374	531	・群馬産は、生育が前進化していたところに、年末からの低温の影響により前年を大幅に下回る出荷となっており、今後も中旬までは3割程度少ない出荷の見込み。千葉産は、12月の生育の前進化により平年より少なめの出荷となり、今後も中旬までは少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は中旬まで平年を大幅に上回って推移する見込み。
		419.76	395	430	582	
	<div>レタス</div> 	233.85	151	190	287	・静岡産は、年末の低温の影響で肥大が進まず小玉傾向で、通常2L中心だがL、M中心の出荷となり、平年より少なめの出荷となっている。今後は生育の回復が見込まれ、下旬には出荷量が増加する見込み。兵庫産は、低温と少雨の影響で生育が鈍り、1月いっぱいには少なめの出荷となる見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は中旬までは平年を上回って推移する見込み。
		226.75	144	187	290	
	<div>たまねぎ</div> 	76.15	86	85	85	・北海道産は、収穫作業が終了。全体の出荷量は前年よりは多いが、平年には届かない見込み。 ・平年より少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		76.15	87	85	91	
果 菜	<div>きゅうり</div> 	370.98	421	566	488	・宮崎産は、曇天が解消したことにより平年並みの出荷に回復し、今後は順調な出荷となる見込み。千葉産も、平年並みの出荷となる見込み。高知産は、12月上旬の曇天の影響で花つきが悪く生育も遅れており、一時的に出荷が増加するものの、平年より少なめの出荷となる見込み。 ・高知産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		350.33	399	545	467	
	<div>トマト</div> 	332.6	446	506	561	・熊本産は、曇天等の影響で小玉傾向となり、前年より少なめの出荷となっており、1月末までは少なめの出荷の見込み。愛知産は、順調で平年並みの出荷の見込み。 ・熊本産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		311.06	428	459	494	
	<div>なす</div> 	389.03	390	420	437	・高知産は、最近の低温等の影響で生育が鈍り少なめの出荷となっており、中旬までは少なめの出荷の見込み。福岡産も、12月以降の曇天と低温の影響で少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		397.74	394	439	477	
	<div>ピーマン</div> 	344.39	411	425	484	・宮崎産は、曇天が解消したが今後も少なめの出荷となる見込み。高知産は、一時的に出荷量が増えるものの後続の生育が追いつかないため、全体的には平年より少なめの出荷となる見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		353.61	451	430	457	
根 菜	<div>だいこん</div> 	64.33	49	53	62	・神奈川県産は、順調な生育、出荷となり、平年並みの出荷の見込み。千葉産も、生育が良好で平年並みの出荷となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		76.48	65	59	72	
	<div>にんじん</div> 	100.82	79	88	104	・千葉産は、生育が良好で肥大が進み、平年並みの出荷となる見込み。埼玉産も、順調で、少なかった前年より多い出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		104.49	121	127	151	

種類		12月の価格動向				生育及び価格の1月の見通し
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均 販売価額			
			上旬	中旬	下旬	
いも	さといも 	200.88	219	237	245	・埼玉産及び千葉産は、作柄もよく、順調な出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回って推移している価格は、平年並みに近づく見込み。
		207.2	282	274	272	
	ばれいしょ 	88.17	101	100	100	・北海道産は、収穫作業が終了。少なかつた前年よりは多いが、平年よりはやや少なめの見込み。長崎産は、順調な生育で平年並みの出荷の見込み。 ・北海道産のやや少なめの出荷量が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		88.17	96	94	95	

1) 平均価格は、過去9年間又は6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)。  
2) 旬別平均販売価額の背景なしは、保証基準額を上回るもの。背景ありは、下回るもの(消費税は除く。)。  
3) 単位は円／kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。  
4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。( )内は前年対比。さといもの近畿は前年実績。  
5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。  
6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

## 2 野菜の需要動向

家計調査によると、11月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、5,091gで前年比109%、購入金額は、1,613円で同91%となり、購入量はかなり前年を上回り、購入金額は前年をかなり下回った。

また、小売物価統計によると、12月のキャベツの小売価格は、129円で過去5か年平均比88%、レタスは、406円で同92%となり、キャベツ、レタスともに過去5か年平均をかなり下回った。

生鮮野菜の購入量及び金額

(1人当たりの購入量、金額)

年	過去5か年平均		平成22年		平成23年			
月	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	前年比	金額 (円)	前年比
1月	4,189	1,529	4,240	1,551	4,310	102	1,573	101
2月	4,391	1,544	4,461	1,574	4,267	96	1,629	103
3月	4,767	1,695	4,970	1,768	4,867	98	1,788	101
4月	4,732	1,808	4,518	1,884	4,796	106	1,789	95
5月	5,094	1,902	4,925	1,965	5,171	105	1,820	93
6月	5,033	1,880	5,026	1,907	4,904	98	1,857	97
7月	4,438	1,683	4,264	1,697	4,362	102	1,759	104
8月	4,272	1,732	4,241	1,733	4,392	104	1,717	99
9月	4,868	1,806	4,606	1,818	4,598	100	1,803	99
10月	5,314	1,849	4,994	1,959	5,037	101	1,884	96
11月	4,997	1,614	4,678	1,774	5,091	109	1,613	91
12月	5,212	1,817	5,177	1,887		0		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移

(単位：円/kg)

	キャベツ		5か年比 (%)	レタス		5か年比 (%)
	過去5か年平均	平成23年		過去5か年平均	平成23年	
1月	189	186	98	618	502	81
2月	173	228	132	496	635	128
3月	181	206	114	455	435	96
4月	250	195	78	464	348	75
5月	185	127	69	399	277	69
6月	159	106	67	360	306	85
7月	154	174	113	320	306	96
8月	170	123	72	493	351	71
9月	159	148	93	483	800	165
10月	158	187	118	474	540	114
11月	155	139	89	359	335	93
12月	146	129	88	442	406	92

1) 過去5か年は平成18～22年の平均  
2) 12月の値は、12月中旬の速報値

資料：総務省「小売物価統計調査報告」

## 3 野菜の輸入動向

平成23年11月までの輸入を貿易統計で見ると、生鮮野菜は前年比116%の84万トン、加工野菜は同107%の163万トン、野菜全体では同110%の247万トンとなった。  
うち中国からの輸入は同111%の127万トンとなり、前年をかなり上回った。

野菜の輸入数量の推移

(単位：トン、%)

区分	平成22年		平成23年1～11月		平成23年11月	
		前年比		前年同期比		前年同月比
生鮮野菜	820,687	133	835,204	116	69,244	91
加工野菜	1,677,840	107	1,634,713	107	156,511	102
野菜合計	2,498,527	114	2,469,918	110	225,755	98
うち中国産野菜合計	1,284,449	117	1,274,329	111	120,606	96
中国産シェア	51		52		53	

資料： ペジ探 （原資料）財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向

(単位：トン、%)

品目	輸入先	(A)2010.12	(B)2011.12	(B)/(A)
たまねぎ	合計	44,941	30,548	68
	中国	26,950	25,728	95
	米国	17,991	4,800	27
にんじん	合計	5,971	4,402	74
	中国	5,642	4,229	75
	オーストラリア	250	138	55
ねぎ	合計	5,380	4,225	79
	中国	5,378	4,223	79

資料：農林水産省「植物防疫統計」。(2011.12)は、速報値である。

## 4 トピック ―野菜の品目別産出額は、トマト、ねぎが増加、きゅうりは大幅に減少―

平成21年の野菜の産出額を品目別にみると、トマト、いちご、ねぎ、きゅうり、ばれいしょが上位5品目を占めている。これらを平成12年と比較すると、トマトとねぎは増加し、他品目は減少している。このうちトマトは、サラダ需要等の増加とそれに対応した新たな品種の開発等により、付加価値の高いトマトやミニトマト等の収穫量が増加していることが、トマト全体として収穫量が減少しているにもかかわらず、産出額の増加をもたらしている。また、ねぎについては、鍋物の材料や薬味として一定の需要があることがその一因であると考えられる。一方、他の品目は、収穫量が減少したことが産出額を減少させる主な要因になっていると考えられる。特にいちごときゅうりの産出額が右肩下がりで減少しているが、いちごは他の果実等との競合の激化により、きゅうりは、漬物需要の減少等、食生活の変化により、需要が減少傾向となり、そのことが収穫量の減少を通じて、産出額の減少を招いていると考えられる。

## 野菜の品目別産出額の推移（平成12年～21年）

品目	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
トマト	1,880	1,900	1,900	1,780	1,940	1,860	1,730	1,740	1,650	1,980
いちご	1,880	1,800	1,750	1,730	1,680	1,730	1,660	1,690	1,640	1,570
ねぎ	1,220	1,340	1,360	1,330	1,310	1,260	1,210	1,380	1,350	1,400
きゅうり	1,620	1,450	1,490	1,430	1,400	1,260	1,400	1,440	1,400	1,310
ばれいしょ	1,310	1,270	1,150	1,240	1,220	1,230	1,210	1,000	1,040	1,190

注)21年産出額の野菜上位5品目  
資料：農林水産省「生産農業所得統計」

## 野菜の品目別収穫量の推移（平成12年～21年）

品目	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
トマト	100	102	103	98	94	94	95	91	91	89
いちご	100	102	103	99	97	96	96	93	93	90
ねぎ	100	98	97	96	91	92	92	92	95	95
きゅうり	100	96	95	95	89	88	88	82	82	81
ばれいしょ	100	102	106	101	100	94	91	99	94	85

資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」

品目	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
トマト 収穫量	100	100	98	96	96	97	90	95	93	88
ミニトマト 収穫量	100	105	115	112	118	124	121	134	133	140

資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484  
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はペジ探のお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>  
★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 <http://www.alic.go.jp/y-suishin/vaiukyu01.000076.html>